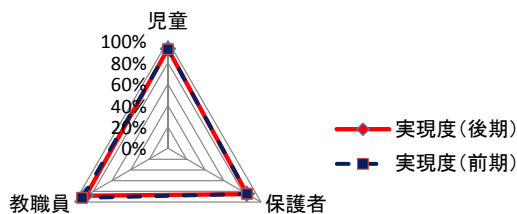


平成28年度後期学校評価の結果を振り返って

保護者の皆様には御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育活動に御理解・御協力いただき誠にありがとうございます。
2月に御協力いただきました学校評価の結果をまとめましたので、お知らせします。お忙しい中、アンケートの御協力ありがとうございました。

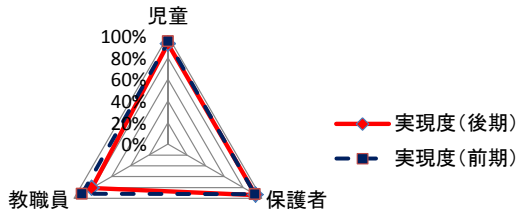
※グラフのポイントは、実現度「よくできている」「大体できている」を合わせたものです。

1. 子どもは学習内容が理解できている



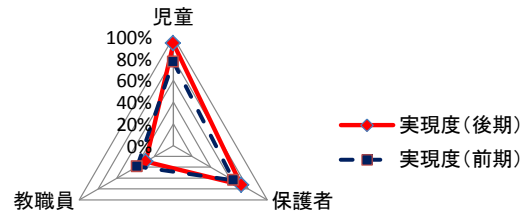
前期の水準を保っています。後期の学習は、前期分に積み上げる学習内容となっている状況で「授業の内容がよくできる」ことは学力の定着と向上への大きな一歩であると考えられます。ICT機器の効果的な利用をはじめ、「わかる授業づくり」に力を注いでいきたいと思います。

2. 子どもは家で必ず宿題や自主学習などの勉強をしている



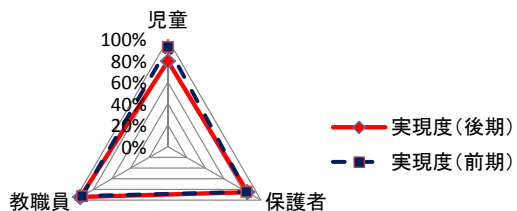
保護者の実現度が増加していたことから、家庭での学習に関わっていただいたことがその主な理由と考えられます。家庭学習は学習の定着を図るとともに、学習の習慣化にも大切な働きがあります。本校では引き続き自分自身で課題を設定する自主学習にも力をいれています。

3. 子どもはまわりの人にすすんであいさつをしている



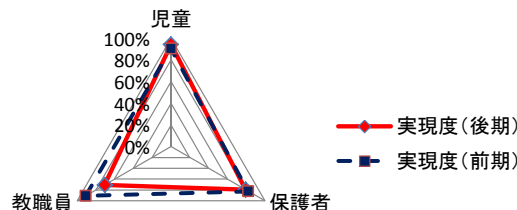
児童17ポイント、保護者8ポイント増加しています。児童の意識に変化があったようです。たくさんの人と関わり生活していることを理解させ、あたためたいふれあいを大切にし、自らあいさつをしたくなるような環境づくりを進め、よりよいあいさつがかわせるようにしていきましょう。

4. 子どもは約束やきまりをまもっている



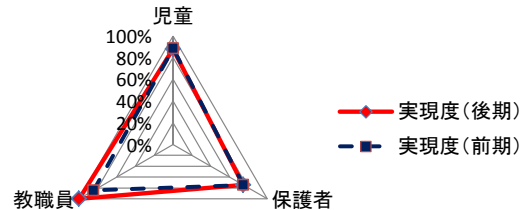
児童は減少、保護者・教職員は増加しています。規範意識や生活の場面での望ましい行動の高まりから、自分自身の行動について自己の振り返りがしっかりできているためと思われる。保護者・教職員は児童の様子を肯定的に受けとめている結果となっています。

5. 子どもは早寝・早起きをし、ごはんをしっかり食べている



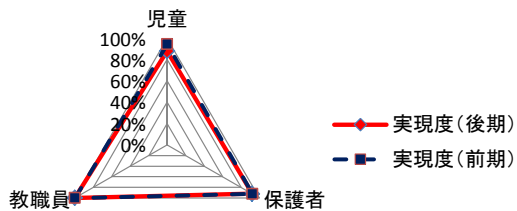
児童の実現度が増加しています。かぜ・インフルエンザ等の予防として体調を整えるため、また元気に学校で活動できるように早寝を心がけるとともに、質のいい睡眠をとれるようにしていきましょう。

6. 子どもはスポーツや外遊びで体を動かしている



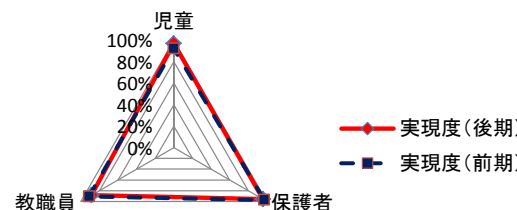
冬期は外で過ごす機会が少なくなりますが、朝マラソン・朝なわとびをはじめ、中間休みなどのみんなあそびを通して体を動かす機会に集団でしっかりと体を動かすことができました。持久走記録会でも自分の目標に向かってしっかりとがんばりました。

7. 子どもは友だちと仲良く遊んだり学習したりしている



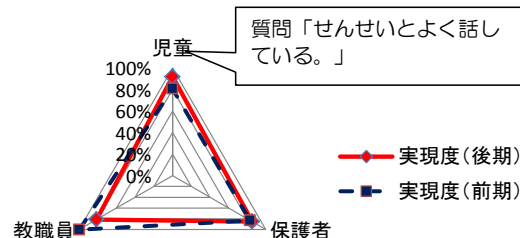
前期に比べ児童は少し減少しましたが、3者とも概ね仲良く遊んだり学習したりできていると回答しています。学校が子どもにとって安心して自分の力を発揮できる場所になるよう、取り組みを進めていきたいと思います。

8. 子どもは家の人とよく会話している



児童は実現度97%と回答、保護者は96%です。多忙な日常の中で、子どもとともに過ごす時間を大切にされていることと思います。また、保護者96%の内訳は「よくできている49%、大体できている47%」となっており、子どもの様子をより理解していきたい表れと思われる。

9. 家庭と学校は連携している



児童は「よくできている」という回答は72%でした（前期37%）。行事や学習活動を通して一緒になって活動する機会が多くなったことが考えられます。共に過ごす時間を大切にしながら、十分な児童理解に努めたいと思います。

重要度の集計結果から

（保護者・教職員）

全項目で100%に近付いています。重要度の結果は取り組みを進めてほしい「願い」であるとともに、学校として大切にしていること、指導に力を入れていることについて、御理解いただいている指標でもあります。子どもたちが行動に結び付けられるよう引き続き指導してまいります。

実現度の集計結果から

児童・保護者・教職員の3者の実現度から、「あいさつ」、「約束やきまりをまもる」、「スポーツや外遊びで体を動かす」が今後の課題となっています。

しかし、それぞれの背景とともに、どのような状況であるのかを把握することが最も大切であると思います。子どもたちがすすんでより望ましい行動がとれるように環境を整えていきたいと思います。

重要度と実現度の結果から

児童は意識の向上にあわせて、実現度が改善されています。より望ましい姿に向かって着実に一歩ずつ「意識と行動」を変化させている段階にあります。

「あいさつ」をはじめまだまだ十分とは言えない状況もありますが、子どもたちの内面的変化や行動に移す力は小さくても「自らを変えようと意識を変え、行動に結びつけようとする努力」はとても大きなものです。その変化を育て上げ、成功体験へと結びつけていく支援が重要となります。

よって、子どもたちが頑張りが続いていけるように応援する声かけを今後も続けていくことが大切であると思います。

【自由記述欄より】（いただきました全ての御意見は教職員全員で共有しております。）
「社会問題や安全面」「家庭学習」「自主学習の内容」「子どもたちの登校」「子どもたちの行動」など、御意見や御指摘を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かしていきます。

【学校運営協議会理事会より】

学校教育目標にある「夢」の実現に向け、子どもたちがより強く「自分はこうなりたい！こうありたい！」と思えるような目標が具体的に持てるような取組に協力していきたい。「夢」の実現を支える学力向上についての取組を充実させていく。また課題である「あいさつ」については、気持ちのよいあいさつがえられるように学校・家庭・地域が協力して声かけをしていきたい。